

1 次元レーザーバーコードリーダー 完全版日本語マニュアル



Ver3.00

※型番/FW によって対応していない設定項目がございます。

目次

1. 設定方法	1
2.RS-232 の設定	3
2-1. フロー制御/フローコントロール	3
2-2. 文字間遅延 (RS-232)	3
2-3. レスポンス遅延 (RS-232)	4
2-4. BandRate	5
2-5. Parity bit	6
2-6. Data bit	6
2-7. Stop bit	6
2-8. ホストタイプ	7
3.USB インターフェイスの設定	8
3-1. USB デバイスタイプ	8
3-2. キーボードタイプ (USB)	9
3-3. 文字間遅延 (USB)	10
3-4. 数字キーのエミュレート (USB)	10
4. スキャンモード・その他設定	11
4-1 スキャン (照射) モード	11
4-2. 待機時間	12
4-3. 同一コード遅延	13
4-4. 送信前確認 (誤読チェック)	14
4-5. 桁数制限 (最大・1 次元コードのみ)	15
4-6. 桁数制限 (最小・1 次元コードのみ)	16
4-7. G1-G4 列選択	17
4-8. 要素の改正 (補正読取り)	18
4-9. 出力文字形式の制限	18
4-10. デコーダの最適化 (読取り強化)	18
4-11. スリープモードに入る時間	19
5. インジケータ	20
5-1 起動音	20
5-2 LED 表示	20
5-3 ブザー音	20
5-4 ビープ音の長さ	21
5-5 ブザーの音量	22
6. UPC-A	23
6-1 UPC-A の読取り	23
6-2 UPC-A チェックディジットの確認	23
6-3 UPC-A チェックディジットの送信	23
6-4 コード ID カスタマイズ	24
6-5 グループ選択を挿入	25
6-6 UPC-A 補助桁 (アドオンコード)	26
6-7 UPC-A 送信変換 (切り捨て・JAN への変換など)	26

7. UPC-E	27
7-1 UPC-E の読取り	27
7-2 UPC-E チェックディジットの確認	27
7-3 UPC-E チェックディジットの送信	27
7-4 コード ID カスタマイズ	28
7-5 グループ選択を挿入	29
7-6 UPC-E 補助桁（アドオンコード）	30
7-7 UPC-E 送信変換（切り捨て・JAN への変換など）	30
8. UPC-E1	31
8-1 UPC-E1 の読取り	31
8-2 UPC-E チェックディジットの確認	31
8-3 UPC-E チェックディジットの送信	31
8-4 コード ID カスタマイズ	32
8-5 グループ選択を挿入	33
8-6 UPC-E1 補助桁（アドオンコード）	34
8-7 UPC-E1 送信変換（切り捨て・JAN への変換など）	34
9. JAN-13(ISBN/ISSN).....	35
9-1 JAN-13(ISBN/ISSN)の読取り	35
9-2 JAN-13(ISBN/ISSN)チェックディジットの確認	35
9-3 JAN-13(ISBN/ISSN)チェックディジットの送信	35
9-4 コード ID カスタマイズ(JAN13)	36
9-5 グループ選択を挿入	37
9-6 JAN-13 補助桁（アドオンコード）	38
9-7 ISBN/ ISSN 変換	38
9-8 コード ID カスタマイズ(ISBN/ISSN).....	39
10. JAN-8	40
10-1 JAN-8 の読取り	40
10-2 JAN-8 チェックディジットの確認	40
10-3 JAN-8 チェックディジットの送信	40
10-4 コード ID カスタマイズ	41
10-5 グループ選択を挿入	42
10-6 JAN-8 補助桁（アドオンコード）	43
10-7 切り捨て・拡張	43
11. CODE 39.....	44
11-1 CODE39 の読取り	44
11-2 CODE39 チェックディジットの確認	44
11-3 CODE39 チェックディジットの送信	44
11-4 CODE39：最大読取り桁数	45
11-5 CODE39：最小読取り桁数	46
11-6 コード ID カスタマイズ	47
11-7 グループ選択を挿入	48
11-8 CODE39：フォーマット	49

11-9	CODE39 : スタート・ストップ	49
11-10	“★” データ文字として認識	49
11-11	Code 39 を Code 32 に変換	49
11-12	コード 32 プレフィックス"A"送信	50
11-13	Trioptic Code 39 の読み取り	50
11-14	Trioptic Code 39 のスタート/エンド伝送	50
12.	Interleaved 2 of 5 (ITF)	51
12-1	Interleaved 2 of 5 の読み取り	51
12-2	Interleaved 2 of 5 チェックディジットの確認	51
12-3	Interleaved 2 of 5 チェックディジットの送信	51
12-4	Interleaved 2 of 5 : 最大読み取り桁数	52
12-5	Interleaved 2 of 5 : 最小読み取り桁数	53
12-6	コード ID カスタマイズ	54
12-7	グループ選択を挿入	55
13.	Industrial 2 of 5 (Discrete 2 of 5)	56
13-1	Industrial 2 of 5 (Discrete 2 of 5) の読み取り	56
13-2	Industrial 2 of 5 (Discrete 2 of 5) : 最大読み取り桁数	57
13-3	Industrial 2 of 5 (Discrete 2 of 5) : 最小読み取り桁数	58
13-4	コード ID カスタマイズ	59
13-5	グループ選択を挿入	60
14.	Matrix 2 of 5	61
14-1	Matrix 2 of 5 の読み取り	61
14-2	Matrix 2 of 5 チェックディジットの確認	61
14-3	Matrix 2 of 5 チェックディジットの送信	61
14-4	Matrix 2 of 5 : 最大読み取り桁数	62
14-5	Matrix 2 of 5 : 最小読み取り桁数	63
14-6	コード ID カスタマイズ	64
14-7	グループ選択を挿入	65
15.	Codabar (NW-7)	66
15-1	Codabar の読み取り	66
15-2	Codabar チェックディジットの確認	66
15-3	Codabar チェックディジットの送信	66
15-4	Codabar : 最大読み取り桁数	67
15-5	Codabar : 最小読み取り桁数	68
15-6	コード ID カスタマイズ	69
15-7	グループ選択を挿入	70
15-8	Codabar Start/End タイプ	71
15-9	Codabar Start/End の送信	71
15-10	Codabar 先頭末尾確認	71
16.	Code128	72
16-1	Code128 の読み取り	72
16-2	Code128 チェックディジットの確認	72

16-3	Code128 チェックディジットの送信	72
16-4	Code128 : 最大読取り桁数	73
16-5	Code128 : 最小読取り桁数	74
16-6	コード ID カスタマイズ	75
16-7	グループ選択を挿入	76
16-8	Code128 先頭 0 の切り捨て	77
17.	UCC/EAN 128	78
17-1	UCC/EAN 128 の読取り	78
17-2	UCC/EAN 128 チェックディジットの確認	78
17-3	UCC/EAN 128 チェックディジットの送信	78
17-4	UCC/EAN 128 : 最大読取り桁数	79
17-5	UCC/EAN 128 : 最小読取り桁数	80
17-6	コード ID カスタマイズ	81
17-7	グループ選択を挿入	82
17-8	UCC/EAN 128 先頭 0 の切り捨て	83
18.	ISBT128	84
18-1	ISBT128 の読取り	84
18-2	ISBT128 チェックディジットの確認	84
18-3	ISBT128 チェックディジットの送信	84
18-4	ISBT128 : 最大読取り桁数	85
18-5	ISBT128 : 最小読取り桁数	86
18-6	コード ID カスタマイズ	87
18-7	グループ選択を挿入	88
19.	CODE93	89
19-1	CODE93 の読取り	89
19-2	CODE93 チェックディジットの確認	89
19-3	CODE93 チェックディジットの送信	89
19-4	CODE93 : 最大読取り桁数	90
19-5	CODE93 : 最小読取り桁数	91
19-6	コード ID カスタマイズ	92
19-7	グループ選択を挿入	93
20.	CODE11	94
20-1	CODE11 の読取り	94
20-2	CODE11 チェックディジットの確認	94
20-3	CODE11 チェックディジットの送信	94
20-4	CODE11 : 最大読取り桁数	95
20-5	CODE11 : 最小読取り桁数	96
20-6	コード ID カスタマイズ	97
20-7	グループ選択を挿入	98
21.	MSI/PLESSEY	99
21-1	MSI/PLESSEY の読取り	99
21-2	MSI/PLESSEY チェックディジットの確認	99

21-3	MSI/PLESSEY チェックディジットの送信	99
21-4	MSI/PLESSEY : 最大読取り桁数	100
21-5	MSI/PLESSEY : 最小読取り桁数	101
21-6	コード ID カスタマイズ	102
21-7	グループ選択を挿入	103
22.	UK/PLESSEY	104
22-1	UK/PLESSEY の読取り	104
22-2	UK/PLESSEY チェックディジットの確認	104
22-3	UK/PLESSEY チェックディジットの送信	104
22-4	UK/PLESSEY : 最大読取り桁数	105
22-5	UK/PLESSEY : 最小読取り桁数	106
22-6	コード ID カスタマイズ	107
22-7	グループ選択を挿入	108
23.	CHINA POST	109
23-1	CHINA POST の読取り	109
23-2	CHINA POST : 最大読取り桁数	110
23-3	CHINA POST : 最小読取り桁数	111
23-4	コード ID カスタマイズ	112
23-5	グループ選択を挿入	113
24.	GS1 DataBar (GS1 DataBar Truncated)	114
24-1	GS1 DataBar の読取り	114
24-2	コード ID カスタマイズ	115
24-3	グループ選択を挿入	116
24-4	GS1 DataBar の変換	117
25.	GS1 DataBar Limited	118
25-1	GS1 DataBar Limited の読取り	118
25-2	コード ID カスタマイズ	119
25-3	グループ選択を挿入	120
25-4	GS1 DataBar Limited の変換	121
26.	GS1 DataBar Expanded	122
26-1	GS1 DataBar Expanded の読取り	122
26-2	GS1 DataBar Expanded : 最大読取り桁数	123
26-3	GS1 DataBar Expanded : 最小読取り桁数	124
26-4	コード ID カスタマイズ	125
26-5	グループ選択を挿入	126
26-6	GS1 DataBar Expanded の変換	127
27.	出力文字の編集-1	128
27-1	先頭に文字を付加する	128
27-2	末尾に文字を付加する	130
27-3	文字を任意の位置に挿入する	132
27-4	指定した文字を別の文字に置き換える。(置換機能)	136
27-5	文字列の削除 (back space 付加)	140

28.出力文字の編集-2	143
28-1 バーコードの種類名の表示.....	143
28-2 コード ID の表示	143
28-3 バーコードの文字数の出力.....	144
28-4 大文字→小文字 小文字→大文字固定変換送信	144
28-5 先頭から文字を抜き出す	145
28-6 末尾から文字を抜き出す	146
29.各バーコードのデフォルト設定参照.....	147
30.ASCII コード表	148
31.オプションコード表	149
◆初期化	150
◆バージョンの確認	150
◆サンプルバーコード.....	151

1. 設定方法

○設定について（設定前にご確認下さい） **※設定後は USB ケーブルを抜き差しして下さい。**

設定方法は下記の 2 種類がございます。

1. クイックバーコード設定

※一部の FW（2016 年以前）はクイックバーコード設定に対応してない場合がございます。

定義：この設定コードのみを読み取ることで設定が完了となります。

下記のクイックバーコード「%0505D00%」のコードを読み取ると「音量・小」が設定されます。

音量小



2. マルチスキャンコード

バーコードを複数読み取ることで設定が可能です。

下記の「例 1:設定内容」の文字間設定で 20ms の設定を行いたい場合は

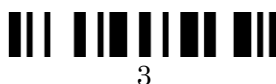
例 2 のように「%SETUP」→「%0903M%」→「0」→「3」→「%END%」

順でバーコードを読み取って下さい。

例 1：設定内容

文字間遅延 0903	数字コード	内容
	0→0	0ms（デフォルト
	0→1	5ms
	0→2	10ms
	0→3	20ms

例 2：「文字間遅延を 20ms」に設定する。



3. 各モデルの設定方法一覧

型番	マルチスキャンコード	クイックバーコード
MD2000/MD2000AT+	○対応	○対応
MD2250+/MD2250AT+	○対応	○対応
MD2230+/MD2253AT+	○対応	○対応
CR40-1D	○対応	○対応
CS2190BT	○対応	○対応
MS3390	○対応	×非対応
MS3690/MS3690BT	×非対応	○対応

2.RS-232 の設定

2-1. フロー制御/フローコントロール

RS-232 制御の際に指定がある場合にご利用下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0301	0→0	None ※デフォルト	 %0301D00%
	0→1	RTS/CTS (Host idle: Low RTS)	 %0301D01%
	0→2	RTS/CTS (Host idle: High RTS)	 %0301D02%
	0→3	XON/XOFF	 %0301D03%

2-2. 文字間遅延 (RS-232)

バーコードを読み取った際にバーコードの文字、1文字毎に遅延を入れます。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0302	0→0	0ms ※デフォルト	 %0302D00%
	0→1	5ms	 %0302D01%
	0→2	10ms	 %0302D02%
	0→3	20ms	 %0302D03%
	0→4	40ms	 %0302D04%
	0→5	80ms	 %0302D05%

2-3. レスポンス遅延（RS-232）

レスポンス応答に遅延を入れます。「0301」と併用する必要があります。

「0304」を読み取り遅延を入りたい時間（ms）を指定します。

例：2s（2000ms）遅延を入れる

マルチスキャン設定手順	数字コード	内容
 %SETUP   0304  数字コード   %%%END	00	設定不可
	01～99（100ms） ※デフォルト値は 20	例：2s（2000ms）の遅延を入れる場合は $20 \times 100\text{ms} = 2\text{s}$ 「%SETUP」→「0304」→「2」→「0」→ 「%%%END」の順で読み取る。 ※デフォルトは 20（2s） ※設定単位は 100ms

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



2-4. BandRate

RS-232 制御の際に指定がある場合にご利用下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0305	0→2	1200	 %0305D02%
	0→3	2400	 %0305D03%
	0→4	4800	 %0305D04%
	0→5	9600 ※デフォルト	 %0305D05%
	0→6	19200	 %0305D06%
	0→7	38400	 %0305D07%
	0→8	57600	 %0305D08%
	0→9	115200	 %0305D09%

2-5. Parity bit

RS-232 制御の際に指定がある場合にご利用下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0306	0→0	None ※デフォルト	 %0306D00%
	0→1	Odd	 %0306D01%
	0→2	Even	 %0306D02%

2-6. Data bit

RS-232 制御の際に指定がある場合にご利用下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0307	0→0	8bit ※デフォルト	 %0307D00%
	0→1	7bit	 %0307D01%

2-7. Stop bit

RS-232 制御の際に指定がある場合にご利用下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0308	0→0	One bit ※デフォルト	 %0308D00%
	0→1	Two bits	 %0308D01%

2-8. ホストタイプ

標準規格：通常の PC の RS-232C ポートを使用される際はこちらをご利用下さい。

OPOS/JPOS：OPOS/JPOS 等のシステム PC をご利用の際はこちらをご利用下さい。

ドライバはご利用されている OPOS/JPOS システムのものをご利用下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0310	0→0	標準規格 ※デフォルト	 %0310D00%
	0→1	OPOS/JPOS	 %0310D01%

3.USB インターフェイスの設定

3-1. USB デバイスタイプ

USB 接続の際の制御方法を指定します。

設定後は **USB** の抜き差しが必要です。

○説明

HID キーボード：WindowsPC 等と接続される際はこちらをご利用下さい

HID（Apple Mac）：Macbook 等の AppleMac 製品をご利用の際はこちらをご利用下さい

VirtualCom：COM エミュレーションが必要な際にご利用下さい。

OPOS/JPOS：OPOS/JPOS 等のシステム PC をご利用の際はこちらをご利用下さい。

ドライバはご利用されている OPOS/JPOS システムのものをご利用下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0901	0→0	HID キーボード ※デフォルト	 %0901D00%
	0→1	HID キーボード (Apple Mac)	 %0901D01%
	0→2	Virtual COM	 %0901D02%
	0→3	OPOS/JPOS	 %0901D03%

3-2. キーボードタイプ (USB)

お使いの PC に合わせて設定を行って下さい。

通常は「日本語」ですが、ネットブックやノート PC は「US」の場合がございます。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0902	0→0	US ※デフォルト	 %0902D00%
	0→1	Turkish F	 %0902D01%
	0→2	Turkish Q	 %0902D02%
	0→3	French	 %0902D03%
	0→4	Italian	 %0902D04%
	0→5	Spanish	 %0902D05%
	0→6	Slovak	 %0902D06%
	0→7	Denmark	 %0902D07%
	0→8	Japanese (日本語)	 %0902D08%
	0→9	German	 %0902D09%
	1→0	Belgian	 %0902D10%
	1→1	Russian	 %0902D11%

3-3. 文字間遅延（USB）

バーコードデーター文字毎に遅延を入れる設定です。

お使いの PC よりバーコードリーダーの送信速度が早く、
処理ができない場合などにご利用下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0903	0→0	0ms	 %0903D00%
	0→1	5ms ※デフォルト	 %0903D01%
	0→2	10ms	 %0903D02%
	0→3	20ms	 %0903D03%
	0→4	40ms	 %0903D04%
	0→5	60ms	 %0903D05%

3-4. 数字キーのエミュレート（USB）

アルファベットキー：キーボードの数字キーを使い送信を行います。

テンキー：「1～9」の数字キー、「+」「-」「*」「/」「.」キーをテンキー操作で送信します。

Alt+keypad：様々なキーボード体型用の送信方法です。

Num Lock キーのコントロールキーがオンでなければならないことに注意してください。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0904	0→0	アルファベット キー ※デフォルト	 %0904D00%
	0→1	テンキー	 %0904D01%
	0→2	Alt+keypad	 %0904D02%

4. スキャンモード・その他設定

4-1 スキャン（照射）モード

内容	説明
グッドリード	トリガーを引いてコードを読み取るか一定時間立つまで照射します。
トリガーモード	トリガーを引いている間、照射を続けます。
トリガー交互	トリガーを1度引くと照射開始、もう一度トリガーを引いてコードを読むと消灯。
常時照射	トリガーの操作無し状態で照射が出続けます。
タイムアウト OFF	トリガーを引いて一定時間立つまで照射します。
自動検出	バーコードを近づけると自動で照射し読取りを行えます。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0401 ※注：この設定内容は初期化設定 してもリセットされません	0→0	グッドリード	 %0401D00%
	0→1	トリガーモード ※デフォルト	 %0401D01%
	0→2	トリガー交互	 %0401D02%
	0→3	常時照射	 %0401D03%
	0→4	タイムアウト OFF	 %0401D04%
	0→5	自動検出 ※ATシリーズのみ	 %0401D05%

4-2. 待機時間

グッドリード・タイムアウト OFF・自動検出モード時に
照射する時間の設定を行います。2桁数字を読取ります。

マルチスキャン設定手順	数字コード	内容
 %SETUP   0402  数字コード   %%END	01～99 (1s) ※デフォルト値は 04	例：3s の照射時間に設定したい場合は $3 \times 1s = 3s$ 「%SETUP」→「0402」→「0」→「3」→ 「%%END」の順で読み取る。 ※デフォルト値は 04 (4s) ※最大 99 秒まで ※設定単位は 1s

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）
数字コード部分に従って読み取りを行います。



4-3. 同一コード遅延

常時照射モードの際に同一コードを連続して読み取る際に設定した時間、読取りを無効にします。

設定した値（16進数→10進数に変換が必要）×50ms が反映されます。

例：「0」→「A」だと $10 \times 50\text{ms} = 500\text{ms}$ （0.5s）

「1」→「0」だと $16 \times 50\text{ms} = 800\text{ms}$ （0.8s）の読取りが無効になります。

※最大 99 まで、「F」→「F」と設定すると同じコードの連続読み取りを禁止します。

マルチスキャン設定手順	数字コード	内容
 ↓  ↓ 数字コード ↓ 	00～FF（16進数） （50ms） ※デフォルト値は 08	例：1000ms（1s）の照射遅延に設定したい場合は $1000\text{ms} = 20 \times 50\text{ms}$ 20 （10進数）= 14 （16進数） 「%SETUP」→「0403」→「1」→「4」→ 「%%END」の順で読み取る。 ※デフォルト値は 08（0.4s） ※「F」→「F」で 直前同一コード禁止 ※設定単位は 50ms

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



4-4. 送信前確認（誤読チェック）

指定した回数、バーコードを誤読していないかチェックを行います。

例：「0」→「4」だと4回 ※最大09まで

マルチスキャン設定手順	数字コード	内容
 %SETUP ↓  0404 ↓ 数字コード ↓  %%%END	00～09 ※デフォルト値は00	例：2回誤読チェックに設定したい場合は 「%SETUP」→「0404」→「0」→「2」→「%%%END」の順で読み取る。 ※デフォルト値は00（チェックなし） ※最大9回まで

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



0



3



5



8



1



6



4



9



2



7

4-5. 桁数制限（最大・1次元コードのみ）

UPC-A、UPC-E、JAN-13、JAN-8 には無効です。

指定した桁数より大きい桁数のバーコードの読取りを無効にします。

例：「0」→「4」だと4桁 「1」→「0」だと10桁まで読取ります。※最大99まで

マルチスキャン設定手順	数字コード	内容
 %SETUP ↓  0405 ↓ 数字コード ↓  %%%END	04～99 ※デフォルト値は99	例：最大読み取り桁数を10桁に設定したい場合は 「%SETUP」→「0405」→「1」→「0」→「%%%END」の順で読み取る。 ※デフォルト値は99 ※UPC-A、UPC-E、JAN-13、JAN-8 には無効です

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



4-6. 桁数制限（最小・1次元コードのみ）

UPC-A、UPC-E、JAN-13、JAN-8 には無効です。

指定した桁数より小さい桁数のバーコードの読取りを無効にします。

例：「0」→「4」だと4桁 「1」→「0」だと10桁以上読取ります。※最大99まで

マルチスキャン設定手順	数字コード	内容
 %SETUP ↓  0406 ↓ 数字コード ↓  %%END	04～99 ※デフォルト値は 01。	例：最小読み取り桁数を 10 桁に設定したい場合は 「%SETUP」→「0406」→「1」→「0」→「%%END」の順で読み取る。 ※デフォルト値は 01 ※UPC-A、UPC-E、JAN-13、JAN-8 には無効です

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



4-7. G1-G4 列選択

スキャナは全てのシンボルについて、1 つまたは 2 つの文字列のグループを提供します。

例：グループ 1 → 01 または 10 に設定して下さい。

グループ 2 → 24 または 42 に設定して下さい。

00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24.30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値です。

マルチスキャン設定手順	数字コード	内容
	0→0	設定なし
 %SETUP   0407  数字コード   %%%END	00→44 ※デフォルト値は 00	例：グループ 1 → 01 または 10 に設定して下さい。 グループ 2 → 24 または 42 に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24.30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値です。

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



0



3



5



8



1



6



9



4



2



7

4-8. 要素の改正（補正読取り）

バーコードの幅が異なっていたり、印字がかすれていたたりして読めないバーコードデータを補正し取り込む設定です。
誤読が頻発する場合は OFF にします。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0408	0→0	補正読取り OFF	 %0408D00%
	0→1	補正読取り ON ※デフォルト	 %0408D01%

4-9. 出力文字形式の制限

印刷可能な文字や英数字だけの送信などを行えます。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0409	0→0	制限なし ※デフォルト	 %0409D00%
	0→1	印刷可能文字のみ	 %0409D01%
	0→2	英数字のみ	 %0409D02%

4-10. デコーダの最適化（読取り強化）

読取りの最適化を行います。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0410	0→0	無効	 %0410D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %0410D01%

4-11. スリープモードに入る時間

スリープモードに入るまでの時間を指定します。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0412	0→0	15 分	 %0412D00%
	0→1	30 分 ※デフォルト	 %0412D01%
	0→2	60 分	 %0412D02%
	0→3	無限大 (スリープモード に入らない)	 %0412D03%

5. インジケータ

5-1 起動音

USB 接続時のビープ音の有効、無効を設定します。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0501	0→0	無効	 %0501D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %0501D01%

5-2 LED 表示

読み取り時の LED の点灯の有効、無効を設定します。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0502	0→0	無効	 %0502D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %0502D01%

5-3 ブザー音

ブザー音の有効、無効を設定します。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0503	0→0	無効	 %0503D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %0503D01%

5-4 ビープ音の長さ

ビープ音の長さを指定します。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   0504  数字コード   %%% END	01-09 (10ms) ※デフォルト値は 05	例：ビープ音の長さを 80ms に設定した場合 $80\text{ms}(0.08\text{s}) = 8 \times 10\text{ms}$ 「%SETUP」 → 「0504」 → 「0」 → 「8」 → 「%%%END」 の順で読み取る。 ※デフォルト値は 05 (0.05s/50ms) ※設定単位は 10ms

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



5-5 ブザーの音量

読み取り音の設定をします。ミュートにする場合は上のブザー音の設定の無効にして下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
0505	0→0	小	 %0505D00%
	0→1	中	 %0505D01%
	0→2	大 ※デフォルト	 %0505D02%

6. UPC-A

6-1 UPC-A の読取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1101	0→0	無効	 %1101D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1101D01%

6-2 UPC-A チェックディジットの確認

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1102	0→0	無効	 %1102D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1102D01%

6-3 UPC-A チェックディジットの送信

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1103	0→0	無効	 %1103D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1103D01%

6-4 コード ID カスタマイズ

コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。
また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   1104  数字コード   %%%END	00- FF (16 進数) (ASCII 表) ※デフォルト値は 41 ※デフォルト内容:A	例：コード ID を A に指定したい場合は ASCII 表：A=41 「%SETUP」→「1104」→「4」→「1」→ 「%%%END」の順で読み取る。 ※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 41 ※デフォルト内容：A

オプションコード読み取り（マルチスキャン用）



0



3



5



8



A



B



1



6



C



D



2



4



7



9



E

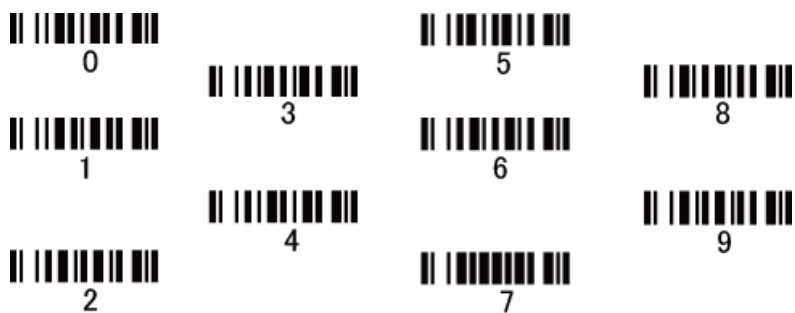


F

6-5 グループ選択を挿入

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   1105  数字コード   %%%END	00→44 ※デフォルト値は 00	例：グループ 1→01 または 10 に設定して下さい。 グループ 2→24 または 42 に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24. 30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値で す。

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）
 数字コード部分に従って読み取りを行います。



6-6 UPC-A 補助桁（アドオンコード）

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1106	0→0	補助コード 読取りなし。 ※デフォルト	 %1106D00%
	0→1	2 digits 有効	 %1106D01%
	0→2	5 digits 有効	 %1106D02%
	0→3	2 と 5digits 有効	 %1106D03%

6-7 UPC-A 送信変換（切り捨て・JAN への変換など）

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1107	0→0	何もしない ※デフォルト	 %1107D00%
	0→1	0 を切り捨て	 %1107D01%
	0→2	JAN13 に変換	 %1107D02%
	0→3	システム文字 切り捨て	 %1107D03%
	0→4	国コード（US）の 追加	 %1107D04%

7. UPC-E

7-1 UPC-E の読取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1201	0→0	無効	 %1201D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1201D01%

7-2 UPC-E チェックディジットの確認

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1202	0→0	無効	 %1202D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1202D01%

7-3 UPC-E チェックディジットの送信

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1203	0→0	無効	 %1203D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1203D01%

7-4 コード ID カスタマイズ

コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。
また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   1204  数字コード   %%%END	00-FF (16 進数) (ASCII 表) ※デフォルト値は 44 ※デフォルト内容:D	例：コード ID を D に指定したい場合は ASCII 表：D=44 「%SETUP」→「1204」→「4」→「4」→ 「%%%END」の順で読み取る。 ※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 44 ※デフォルト内容：D

オプションコード読み取り（マルチスキャン用）



7-5 グループ選択を挿入

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   1205  数字コード   %%%END	00→44 ※デフォルト値は 00	例：グループ 1→01 または 10 に設定して下さい。 グループ 2→24 または 42 に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24. 30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値です。

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）
 数字コード部分に従って読み取りを行います。



7-6 UPC-E 補助桁（アドオンコード）

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1206	0→0	補助コード 読取りなし。 ※デフォルト	 %1206D00%
	0→1	2 digits 有効	 %1206D01%
	0→2	5 digits 有効	 %1206D02%
	0→3	2 と 5digits 有効	 %1206D03%

7-7 UPC-E 送信変換（切り捨て・JAN への変換など）

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1207	0→0	何もしない ※デフォルト	 %1207D00%
	0→1	0 を切り捨て	 %1207D01%
	0→2	JAN13 に変換	 %1207D02%
	0→3	UPC-A に変換	 %1207D03%
	0→4	システムの文字を 切り捨て	 %1207D04%
	0→5	国コードを先頭に 付加	 %1207D05%

8. UPC-E1

8-1 UPC-E1 の読取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
3401	0→0	無効	 %3401D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %3401D01%

8-2 UPC-E チェックディジットの確認

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
3402	0→0	無効	 %3402D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %3402D01%

8-3 UPC-E チェックディジットの送信

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
3403	0→0	無効	 %3403D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %3403D01%

8-4 コード ID カスタマイズ

コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。
また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   3404  数字コード   %%%END	00-FF (16 進数) (ASCII 表) ※デフォルト値は 44 ※デフォルト内容:D	例：コード ID を D に指定したい場合は ASCII 表：D=44 「%SETUP」→「3404」→「4」→「4」→ 「%%%END」の順で読み取る。 ※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 44 ※デフォルト内容：D

オプションコード読み取り（マルチスキャン用）



0



3



5



8



A



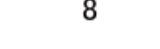
B



1



6



9



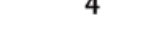
C



D



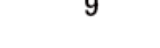
2



4



7



9



E



F

8-5 グループ選択を挿入

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   3405  数字コード   %%%END	00→44 ※デフォルト値は00	例：グループ1→01 または 10 に設定して下さい。 グループ2→24 または 42 に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24. 30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値です。

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



8-6 UPC-E1 補助桁（アドオンコード）

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
3406	0→0	補助コード 読取りなし。 ※デフォルト	 %3406D00%
	0→1	2 digits 有効	 %3406D01%
	0→2	5 digits 有効	 %3406D02%
	0→3	2 と 5digits 有効	 %3406D03%

8-7 UPC-E1 送信変換（切り捨て・JAN への変換など）

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
3407	0→0	何もしない ※デフォルト	 %3407D00%
	0→2	JAN13 に変換	 %3407D02%
	0→3	UPC-A に変換	 %3407D03%
	0→4	システムの文字を 切り捨て	 %3407D04%
	0→5	国コードを先頭に 付加	 %3407D05%

9. JAN-13(ISBN/ISSN)

9-1 JAN-13(ISBN/ISSN)の読取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1301	0→0	無効	 %1301D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1301D01%

9-2 JAN-13(ISBN/ISSN)チェックディジットの確認

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1302	0→0	無効	 %1302D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1302D01%

9-3 JAN-13(ISBN/ISSN)チェックディジットの送信

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1303	0→0	無効	 %1303D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1303D01%

9-4 コード ID カスタマイズ(JAN13)

コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。
また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   1304  数字コード   %%%END	00-FF (16 進数) (ASCII 表) ※デフォルト値は 41 ※デフォルト内容:A	例：コード ID を A に指定したい場合は ASCII 表：A=41 「%SETUP」→「1304」→「4」→「1」→ 「%%%END」の順で読み取る。 ※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 41 ※デフォルト内容：A

オプションコード読み取り（マルチスキャン用）



9-5 グループ選択を挿入

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   1305  数字コード   %%%END	00→44 ※デフォルト値は 00	例：グループ 1→01 または 10 に設定して下さい。 グループ 2→24 または 42 に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24. 30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値です。

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）
 数字コード部分に従って読み取りを行います。



9-6 JAN-13 補助桁（アドオンコード）

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1306	0→0	補助コード 読取りなし。 ※デフォルト	 %1306D00%
	0→1	2 digits 有効	 %1306D01%
	0→2	5 digits 有効	 %1306D02%
	0→3	2 と 5digits 有効	 %1306D03%

9-7 ISBN/ ISSN 変換

JAN コードを ISSN・ISBN の形式に変換します。

例：

バーコード「**978**0194315104」、出力："019431510X"。

バーコード「**977**1005180004」、出力："10051805"。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1307	0→0	無効 ※デフォルト	 %1307D00%
	0→1	有効	 %1307D01%

9-8 コード ID カスタマイズ(ISBN/ISSN)

コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。
また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   1309  数字コード   %%%END	00-FF (16 進数) (ASCII 表) ※デフォルト値は 42 ※デフォルト内容:B	例：コード ID を B に指定したい場合は ASCII 表：B=42 「%SETUP」→「1309」→「4」→「2」→ 「%%%END」の順で読み取る。 ※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 42 ※デフォルト内容：B

オプションコード読み取り（マルチスキャン用）



10. JAN-8

10-1 JAN-8 の読取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1401	0→0	無効	 %1401D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1401D01%

10-2 JAN-8 チェックディジットの確認

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1402	0→0	無効	 %1402D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1402D01%

10-3 JAN-8 チェックディジットの送信

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1403	0→0	無効	 %1403D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1403D01%

10-4 コード ID カスタマイズ

コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。
また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   1404  数字コード   %%%END	00-FF (16 進数) (ASCII 表) ※デフォルト値は 43 ※デフォルト内容:C	例：コード ID を C に指定したい場合は ASCII 表：C=43 「%SETUP」→「1404」→「4」→「3」→ 「%%%END」の順で読み取る。 ※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 43 ※デフォルト内容：C

オプションコード読み取り（マルチスキャン用）



10-5 グループ選択を挿入

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   1405  数字コード   %%%END	00→44 ※デフォルト値は00	例：グループ1→01 または 10 に設定して下さい。 グループ2→24 または 42 に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24. 30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値です。

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



10-6 JAN-8 補助桁（アドオンコード）

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1406	0→0	補助コード 読取りなし。 ※デフォルト	 %1406D00%
	0→1	2 digits 有効	 %1406D01%
	0→2	5 digits 有効	 %1406D02%
	0→3	2 と 5digits 有効	 %1406D03%

10-7 切り捨て・拡張

無し：何もしません。

先頭 0 切り捨て：先頭の 0 を切り捨てて送信します。

JAN-13 に拡大：JAN13 の形式にデータを変換します。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1407	0→0	無し ※デフォルト	 %1407D00%
	0→1	先頭 0 切り捨て	 %1407D01%
	0→2	JAN-13 に拡大	 %1407D02%

11. CODE 39

11-1 CODE39 の読取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1501	0→0	無効	 %1501D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1501D01%

11-2 CODE39 チェックディジットの確認

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1502	0→0	無効 ※デフォルト	 %1502D00%
	0→1	有効	 %1502D01%

11-3 CODE39 チェックディジットの送信

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1503	0→0	無効 ※デフォルト	 %1503D00%
	0→1	有効	 %1503D01%

11-4 CODE39：最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   1504  数字コード   %%%END	00→99 ※デフォルト値は 99	例：読取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」→「1504」→「1」→「0」→「%%%END」の順で読み取る。 ※デフォルト値は 99,無制限になります。

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



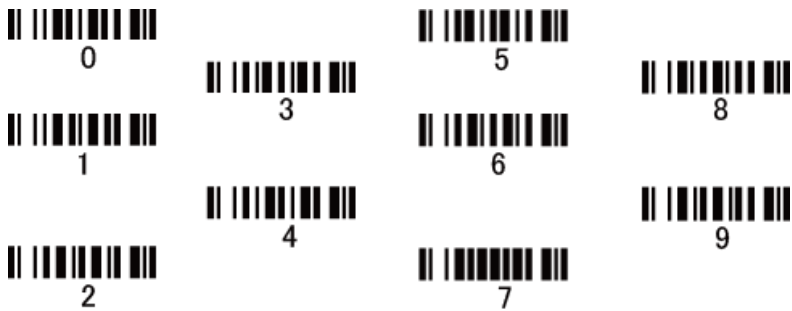
11-5 CODE39：最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP ↓  1505 ↓ 数字コード ↓  %%%END	00→99 ※デフォルト値は 01	例：読取り最小桁数を 5 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」→「1505」→「0」→「5」→「%%%END」の順で読み取る。 ※デフォルト値は 01

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



11-6 コード ID カスタマイズ

コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。
また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   1506  数字コード   %%%END	00-FF (16 進数) (ASCII 表) ※デフォルト値 4D ※デフォルト内容:M	例：コード ID を M に指定したい場合は ASCII 表：M=4 D 「%SETUP」→「1506」→「4」→「D」→ 「%%%END」の順で読み取る。 ※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 4 D ※デフォルト内容：M

オプションコード読み取り（マルチスキャン用）



11-7 グループ選択を挿入

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   1507  数字コード   %%%END	00→44 ※デフォルト値は00	例：グループ1→01 または 10 に設定して下さい。 グループ2→24 または 42 に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24. 30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値です。

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



11-8 CODE39 : フォーマット

CODE39 のバーコード形式に合わせて設定を行って下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1508	0→0 ※デフォルト	通常の CODE39 ※デフォルト	 %1508D00%
	0→1	FullASC II 形式	 %1508D01%

11-9 CODE39 : スタート・ストップ

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1509	0→0 ※デフォルト	送信しない ※デフォルト	 %1509D00%
	0→1	送信する	 %1509D01%

11-10 “*” データ文字として認識

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1510	0→0 ※デフォルト	無効 ※デフォルト	 %1510D00%
	0→1	有効	 %1510D01%

11-11 Code 39 を Code 32 に変換

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1511	0→0 ※デフォルト	無効 ※デフォルト	 %1511D00%
	0→1	有効	 %1511D01%

11-12 コード 32 プレフィックス"A"送信

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1512	0→0 ※デフォルト	無効 ※デフォルト	 %1512D00%
	0→1	有効	 %1512D01%

11-13 Trioptic Code 39 の読み取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1513	0→0 ※デフォルト	送信なし ※デフォルト	 %1513D00%
	0→1	送信あり	 %1513D01%

11-14 Trioptic Code 39 のスタート/エンド伝送

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1514	0→0 ※デフォルト	送信なし ※デフォルト	 %1514D00%
	0→1	送信あり	 %1514D01%

12. Interleaved 2 of 5 (ITF)

12-1 Interleaved 2 of 5 の読取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1601	0→0	無効	 %1601D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1601D01%

12-2 Interleaved 2 of 5 チェックディジットの確認

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1602	0→0	無効 ※デフォルト	 %1602D00%
	0→1	有効	 %1602D01%

12-3 Interleaved 2 of 5 チェックディジットの送信

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1603	0→0	無効 ※デフォルト	 %1603D00%
	0→1	有効	 %1603D01%

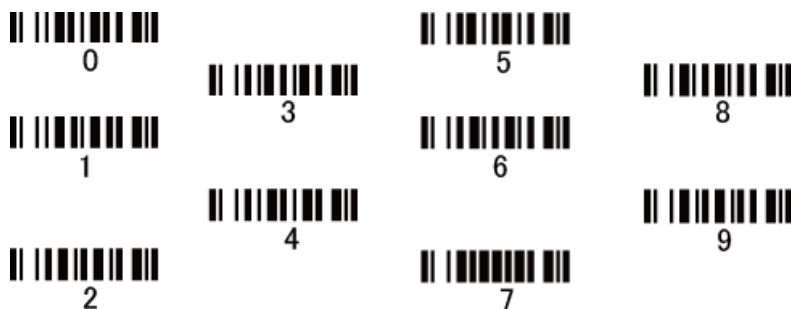
12-4 Interleaved 2 of 5：最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP ↓  1604 ↓ 数字コード ↓  %%%END	00→99 ※デフォルト値は 99	例：読み取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」→「1604」→「1」→「0」→「%%%END」の順で読み取る。 ※デフォルト値は 99,無制限になります。

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



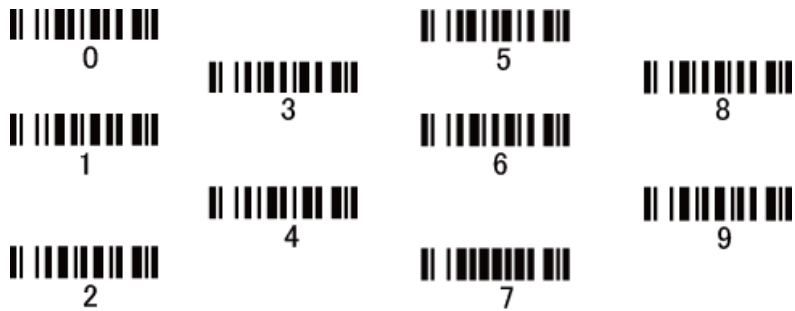
12-5 Interleaved 2 of 5 : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP ↓  1605 ↓ 数字コード ↓  %%%END	00→99 ※デフォルト値は 06	例：読み取り最小桁数を 8 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」→「1605」→「0」→「8」→「%%%END」の順で読み取る。 ※デフォルト値は 06

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



12-6 コード ID カスタマイズ

コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。
また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   1606  数字コード   %%% END	00-FF (16 進数) (ASCII 表) ※デフォルト値 49 ※デフォルト内容:I	例：コード ID を I に指定したい場合は ASCII 表：I=49 「%SETUP」→「1606」→「4」→「9」→ 「%%%END」の順で読み取る。 ※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 49 ※デフォルト内容：I

オプションコード読み取り（マルチスキャン用）

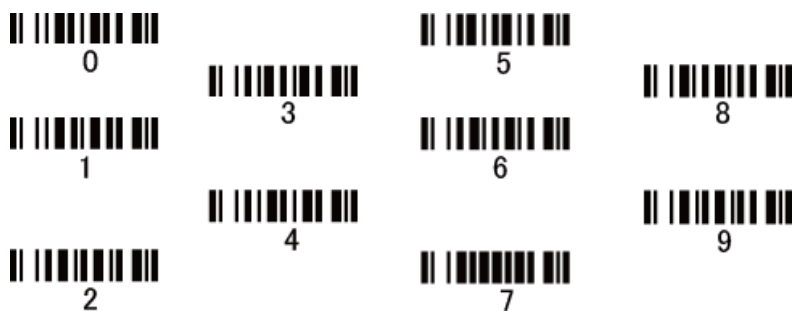


12-7 グループ選択を挿入

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   1607  数字コード   %%%END	00→44 ※デフォルト値は00	例：グループ 1→01 または 10 に設定して下さい。 グループ 2→24 または 42 に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24. 30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値です。

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



13. Industrial 2 of 5 (Discrete 2 of 5)

13-1 Industrial 2 of 5 (Discrete 2 of 5)の読取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1701	0→0	無効 ※デフォルト	 %1701D00%
	0→1	有効	 %1701D01%

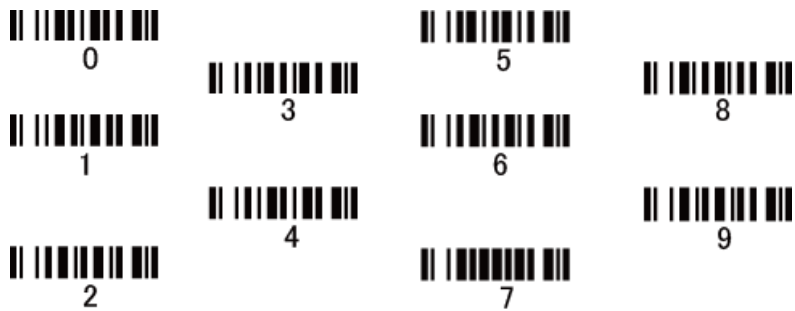
13-2 Industrial 2 of 5 (Discrete 2 of 5) : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP ↓  1702 ↓ 数字コード ↓  %%%END	00→99 ※デフォルト値は 99	例：読み取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」→「1702」→「1」→「0」→「%%%END」の順で読み取る。 ※デフォルト値は 99,無制限になります。

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



13-3 Industrial 2 of 5 (Discrete 2 of 5) : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   1703  数字コード   %%%END	00→99 ※デフォルト値は 04	例：読取り最小桁数を 8 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」→「1703」→「0」→「8」→「%%%END」の順で読み取る。 ※デフォルト値は 04

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



13-4 コード ID カスタマイズ

コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。
また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   1704  数字コード   %%% END	00-FF (16 進数) (ASCII 表) ※デフォルト値 48 ※デフォルト内容:H	例：コード ID を H に指定したい場合は ASCII 表：H=48 「%SETUP」→「1704」→「4」→「8」→ 「%%%END」の順で読み取る。 ※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 48 ※デフォルト内容：H

オプションコード読み取り（マルチスキャン用）



13-5 グループ選択を挿入

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   1705  数字コード   %%%END	00→44 ※デフォルト値は 00	例：グループ 1→01 または 10 に設定して下さい。 グループ 2→24 または 42 に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24. 30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値です。

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



14. Matrix 2 of 5

14-1 Matrix 2 of 5 の読取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1801	0→0	無効	 %1801D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1801D01%

14-2 Matrix 2 of 5 チェックディジットの確認

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1802	0→0	無効 ※デフォルト	 %1802D00%
	0→1	有効	 %1802D01%

14-3 Matrix 2 of 5 チェックディジットの送信

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1803	0→0	無効 ※デフォルト	 %1803D00%
	0→1	有効	 %1803D01%

14-4 Matrix 2 of 5 : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   1804  数字コード   %%%END	00→99 ※デフォルト値は 99	例：読み取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」→「1804」→「1」→「0」→「%」→「%」→「%」→「END」の順で読み取る。 ※デフォルト値は 99,無制限になります。

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



0



3



5



8



1



6



9



4



2



7

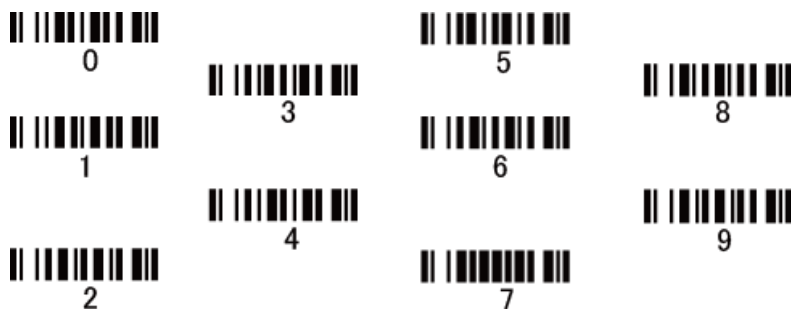
14-5 Matrix 2 of 5 : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP ↓  1805 ↓ 数字コード ↓  %%%END	00→99 ※デフォルト値は 06	例：読取り最小桁数を 8 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」→「1805」→「0」→「8」→「%%%END」の順で読み取る。 ※デフォルト値は 06

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



14-6 コード ID カスタマイズ

コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。
また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   1806  数字コード   %%%END	00-FF (16 進数) (ASCII 表) ※デフォルト値 58 ※デフォルト内容:X	例：コード ID を X に指定したい場合は ASCII 表：X=58 「%SETUP」→「1806」→「5」→「8」→ 「%%%END」の順で読み取る。 ※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 58 ※デフォルト内容：X

オプションコード読み取り（マルチスキャン用）



14-7 グループ選択を挿入

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   1807  数字コード   %%%END	00→44 ※デフォルト値は 00	例：グループ 1→01 または 10 に設定して下さい。 グループ 2→24 または 42 に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24. 30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値で す。

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



15. Codabar (NW-7)

15-1 Codabar の読取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1901	0→0	無効	 %1901D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1901D01%

15-2 Codabar チェックディジットの確認

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1902	0→0	無効 ※デフォルト	 %1902D00%
	0→1	有効	 %1902D01%

15-3 Codabar チェックディジットの送信

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1903	0→0	無効 ※デフォルト	 %1903D00%
	0→1	有効	 %1903D01%

15-4 Codabar : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP ↓  1904 ↓ 数字コード ↓  %%%END	00→99 ※デフォルト値は 99	例：読み取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」→「1904」→「1」→「0」→「%%% END」の順で読み取る。 ※デフォルト値は 99,無制限になります。

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



0



3



5



8



1



6



9



4



2



7

15-5 Codabar : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP ↓  1905 ↓ 数字コード ↓  %%%END	00→99 ※デフォルト値は 04	例：読み取り最小桁数を 8 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」→「1905」→「0」→「8」→「%%%END」の順で読み取る。 ※デフォルト値は 04

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



15-6 コード ID カスタマイズ

コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。
また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   1906  数字コード   %%%END	00-FF (16 進数) (ASCII 表) ※デフォルト値 4E ※デフォルト内容:N	例：コード ID を N に指定したい場合は ASCII 表：N=4E 「%SETUP」→「1906」→「4」→「E」→ 「%%%END」の順で読み取る。 ※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 4E ※デフォルト内容：N

オプションコード読み取り（マルチスキャン用）



0



3



5



8



A



B



1



6



C



D



2



4



7



9



E



F

15-7 グループ選択を挿入

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP ↓  1907 ↓ 数字コード ↓  %%%END	00→44 ※デフォルト値は00	例：グループ1→01 または 10 に設定して下さい。 グループ2→24 または 42 に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24.30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値です。

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



15-8 Codabar Start/End タイプ

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1908	0→0	ABCD/ABCD ※デフォルト	 %1908D00%
	0→1	abcd/abcd	 %1908D01%
	0→2	ABCD/TN*E	 %1908D02%
	0→3	abcd/tn*e	 %1908D03%

15-9 Codabar Start/End の送信

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1909	0→0	送信しない ※デフォルト	 %1909D00%
	0→1	送信する	 %1909D01%

15-10 Codabar 先頭末尾確認

有効にすることで CodaBar の開始文字と終了文字が同じで無ければなりません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
1910	0→0	無効 ※デフォルト	 %1910D00%
	0→1	有効	 %1910D01%

16. Code128

16-1 Code128 の読取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2001	0→0	無効	 %2001D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %2001D01%

16-2 Code128 チェックディジットの確認

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2002	0→0	無効	 %2002D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %2002D01%

16-3 Code128 チェックディジットの送信

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2003	0→0	無効 ※デフォルト	 %2003D00%

16-4 Code128：最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   2004  数字コード   %%%END	00→99 ※デフォルト値は 99	例：読み取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」→「2004」→「1」→「0」→「%%%END」の順で読み取る。 ※デフォルト値は 99,無制限になります。

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



16-5 Code128 : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP ↓  2005 ↓ 数字コード ↓  %%%END	00→99 ※デフォルト値は 01	例：読み取り最小桁数を 8 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」→「2005」→「0」→「8」→「%%%END」の順で読み取る。 ※デフォルト値は 01

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



16-6 コード ID カスタマイズ

コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。
また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   2006  数字コード   %%% END	00-FF (16 進数) (ASCII 表) ※デフォルト値 4B ※デフォルト内容:K	例：コード ID を K に指定したい場合は ASCII 表：K=4B 「%SETUP」→「2006」→「4」→「B」→ 「%%%END」の順で読み取る。 ※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 4B ※デフォルト内容：K

オプションコード読み取り（マルチスキャン用）



16-7 グループ選択を挿入

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   2007  数字コード   %%%END	00→44 ※デフォルト値は 00	例：グループ 1→01 または 10 に設定して下さい。 グループ 2→24 または 42 に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24. 30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値で す。

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



16-8 Code128 先頭 0 の切り捨て

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2008	0→0	無効 ※デフォルト	 %2008D00%
	0→1	先頭全ての 0 例:0001 では「1」	 %2008D01%
	0→2	先頭の 0 のみ 例:0001 では「001」	 %2008D02%

17. UCC/EAN 128

17-1 UCC/EAN 128 の読取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2501	0→0	無効	 %2501D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %2501D01%

17-2 UCC/EAN 128 チェックディジットの確認

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2502	0→0	無効	 %2502D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %2502D01%

17-3 UCC/EAN 128 チェックディジットの送信

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2503	0→0	無効 ※デフォルト	 %2503D00%

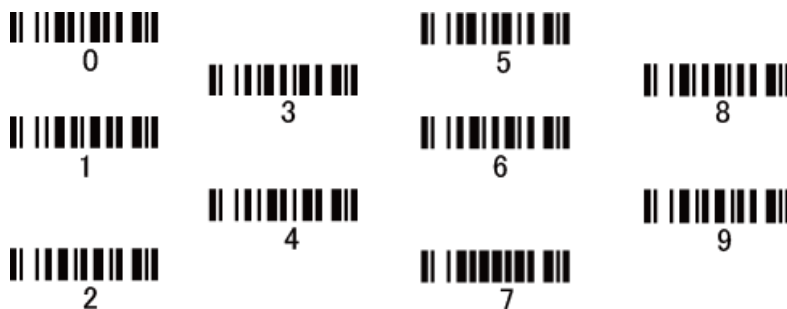
17-4 UCC/EAN 128：最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   2504  数字コード   %%%END	00→99 ※デフォルト値は 99	例：読み取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」→「2504」→「1」→「0」→「%%END」の順で読み取る。 ※デフォルト値は 99,無制限になります。

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



17-5 UCC/EAN 128 : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP ↓  2505 ↓ 数字コード ↓  %%%END	00→99 ※デフォルト値は 01	例：読取り最小桁数を 8 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」→「2505」→「0」→「8」→「%%% END」の順で読取る。 ※デフォルト値は 01

数字バーコード読取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読取りを行います。



17-6 コード ID カスタマイズ

コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。
また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   2506  数字コード   %%% END	00-FF (16 進数) (ASCII 表) ※デフォルト値 4B ※デフォルト内容:K	例：コード ID を K に指定したい場合は ASCII 表：K=4B 「%SETUP」→「2506」→「4」→「B」→ 「%%%END」の順で読み取る。 ※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 4B ※デフォルト内容：K

オプションコード読み取り（マルチスキャン用）

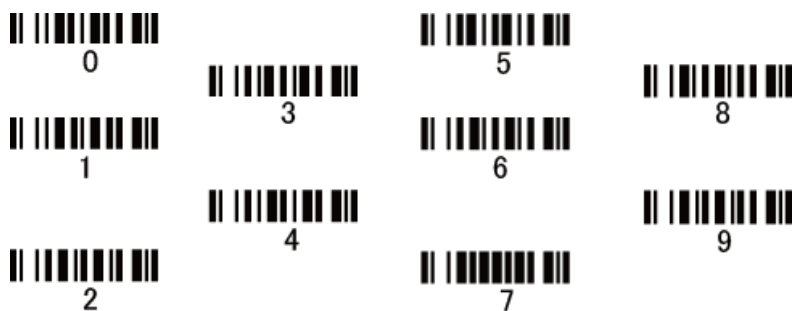


17-7 グループ選択を挿入

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   2507  数字コード   %%%END	00→44 ※デフォルト値は00	例：グループ 1→01 または 10 に設定して下さい。 グループ 2→24 または 42 に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24. 30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値で す。

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



17-8 UCC/EAN 128 先頭 0 の切り捨て

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2508	0→0	無効 ※デフォルト	 %2508D00%
	0→1	先頭全ての 0 例:0001 では「1」	 %2508D01%
	0→2	先頭の 0 のみ 例:0001 では「001」	 %2508D02%

18. ISBT128

18-1 ISBT128 の読取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
3301	0→0	無効	 %3301D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %3301D01%

18-2 ISBT128 チェックディジットの確認

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
3302	0→0	無効	 %3302D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %3302D01%

18-3 ISBT128 チェックディジットの送信

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
3303	0→0	無効 ※デフォルト	 %3303D00%

18-4 ISBT128：最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   3304  数字コード   %%%END	00→99 ※デフォルト値は 99	例：読み取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」→「3304」→「1」→「0」→「%%END」の順で読み取る。 ※デフォルト値は 99,無制限になります。

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



0



3



5



8



1



6



9



4



2



7

18-5 ISBT128：最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   3305  数字コード   %%% END	00→99 ※デフォルト値は 01	例：読取り最小桁数を 8 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」→「3305」→「0」→「8」→ 「%%%END」の順で読み取る。 ※デフォルト値は 01

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



18-6 コード ID カスタマイズ

コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。
また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   3306  数字コード   %%%END	00-FF (16 進数) (ASCII 表) ※デフォルト値 4B ※デフォルト内容:K	例：コード ID を K に指定したい場合は ASCII 表：K=4B 「%SETUP」→「3306」→「4」→「B」→ 「%%%END」の順で読み取る。 ※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 4B ※デフォルト内容：K

オプションコード読み取り（マルチスキャン用）



18-7 グループ選択を挿入

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   3307  数字コード   %%%END	00→44 ※デフォルト値は 00	例：グループ 1→01 または 10 に設定して下さい。 グループ 2→24 または 42 に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24. 30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値で す。

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



19. CODE93

19-1 CODE93 の読取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2101	0→0	無効	 %2101D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %2101D01%

19-2 CODE93 チェックディジットの確認

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2102	0→0	無効	 %2102D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %2102D01%

19-3 CODE93 チェックディジットの送信

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2103	0→0	無効 ※デフォルト	 %2103D00%
	0→1	有効	 %2103D01%

19-4 CODE93：最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP ↓  2104 ↓ 数字コード ↓  %%%END	00→99 ※デフォルト値は 99	例：読取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」→「2104」→「1」→「0」→「%%% ※デフォルト値は 99,無制限になります。

数字バーコード読取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読取りを行います。



19-5 CODE93 : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP ↓  2105 ↓ 数字コード ↓  %%%END	00→99 ※デフォルト値は 01	例：読取り最小桁数を 8 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」→「2105」→「0」→「8」→「%%%END」の順で読取る。 ※デフォルト値は 01

数字バーコード読取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読取りを行います。



19-6 コード ID カスタマイズ

コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。
また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   2106  数字コード   %%% END	00-FF (16 進数) (ASCII 表) ※デフォルト値 4C ※デフォルト内容:L	例：コード ID を L に指定したい場合は ASCII 表：L=4C 「%SETUP」→「2106」→「4」→「C」→ 「%%%END」の順で読み取る。 ※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 4C ※デフォルト内容：L

オプションコード読み取り (マルチスキャン用)

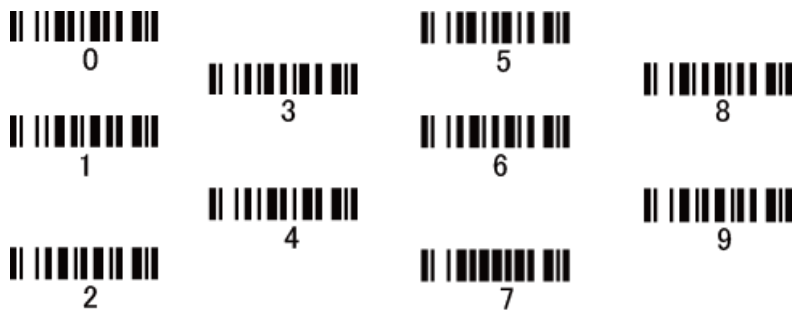


19-7 グループ選択を挿入

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   2107  数字コード   %%%END	00→44 ※デフォルト値は00	例：グループ 1→01 または 10 に設定して下さい。 グループ 2→24 または 42 に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24. 30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値で す。

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



20. CODE11

20-1 CODE11 の読取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2201	0→0	無効 ※デフォルト	 %2201D00%
	0→1	有効	 %2201D01%

20-2 CODE11 チェックディジットの確認

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2202	0→0	無効	 %2202D00%
	0→1	1 デジット ※デフォルト	 %2202D01%
	0→2	2 デジット	 %2202D02%

20-3 CODE11 チェックディジットの送信

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2203	0→0	無効 ※デフォルト	 %2203D00%
	0→1	有効	 %2203D01%

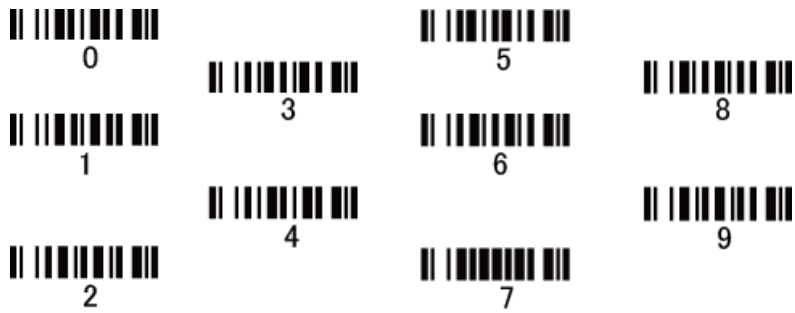
20-4 CODE11：最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP ↓  2204 ↓ 数字コード ↓  %%%END	00→99 ※デフォルト値は 99	例：読取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」→「2204」→「1」→「0」→「%%%END」の順で読取る。 ※デフォルト値は 99,無制限になります。

数字バーコード読取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読取りを行います。



20-5 CODE11：最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP ↓  2205 ↓ 数字コード ↓  %%%END	00→99 ※デフォルト値は 04	例：読取り最小桁数を 8 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」→「2205」→「0」→「8」→「%%%END」の順で読み取る。 ※デフォルト値は 04

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



0



3



5



8



1



6



9



4



7



2

20-6 コード ID カスタマイズ

コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。
また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   2206  数字コード   %%% END	00-FF (16 進数) (ASCII 表) ※デフォルト値 56 ※デフォルト内容:V	例：コード ID を V に指定したい場合は ASCII 表：V=56 「%SETUP」→「2206」→「5」→「6」→ 「%%%END」の順で読み取る。 ※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 56 ※デフォルト内容：V

オプションコード読み取り（マルチスキャン用）



20-7 グループ選択を挿入

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   2207  数字コード   %%%END	00→44 ※デフォルト値は 00	例：グループ 1→01 または 10 に設定して下さい。 グループ 2→24 または 42 に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24. 30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値です。

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）
 数字コード部分に従って読み取りを行います。



21. MSI/PLESSEY

21-1 MSI/PLESSEY の読取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2301	0→0	無効 ※デフォルト	 %2301D00%
	0→1	有効	 %2301D01%

21-2 MSI/PLESSEY チェックディジットの確認

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2302	0→0	無効 ※デフォルト	 %2302D00%
	0→1	1 デジット (mod10)	 %2302D01%
	0→2	2 デジット (mod10/10)	 %2302D02%
	0→3	2 デジット (mod11/10)	 %2302D03%

21-3 MSI/PLESSEY チェックディジットの送信

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2303	0→0	無効 ※デフォルト	 %2303D00%
	0→1	有効	 %2303D01%

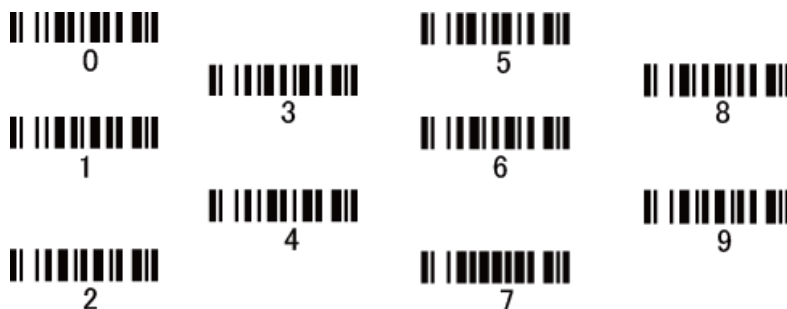
21-4 MSI/PLESSEY：最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   2304  数字コード   %%% END	00→99 ※デフォルト値は 99	例：読取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」→「2304」→「1」→「0」→「%%%END」の順で読み取る。 ※デフォルト値は 99,無制限になります。

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



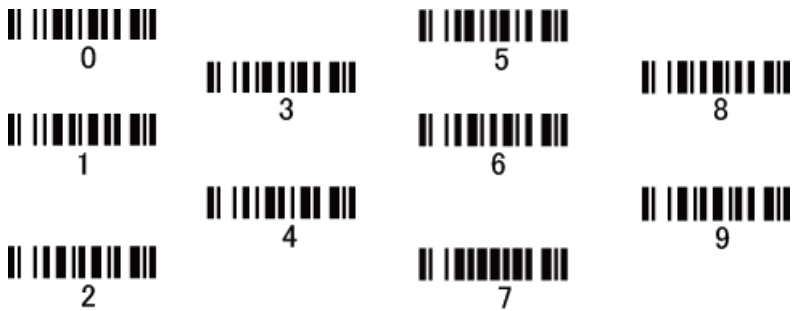
21-5 MSI/PLESSEY：最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP ↓  2305 ↓ 数字コード ↓  %%%END	00→99 ※デフォルト値は 04	例：読取り最小桁数を 8 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」→「2305」→「0」→「8」→「%%%END」の順で読み取る。 ※デフォルト値は 04

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



21-6 コード ID カスタマイズ

コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。
また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   2306  数字コード   %%% END	00-FF (16 進数) (ASCII 表) ※デフォルト値 4F ※デフォルト内容:O	例：コード ID を O に指定したい場合は ASCII 表：O=4F 「%SETUP」→「2306」→「4」→「F」→ 「%%%END」の順で読み取る。 ※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 4F ※デフォルト内容：O

オプションコード読み取り（マルチスキャン用）



21-7 グループ選択を挿入

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP ↓  2307 ↓ 数字コード ↓  %%%END	 00→44 ※デフォルト値は00	 例：グループ1→01 または 10 に設定して下さい。 グループ2→24 または 42 に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24. 30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値で す。

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



22. UK/PLESSEY

22-1 UK/PLESSEY の読取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2401	0→0	無効 ※デフォルト	 %2401D00%
	0→1	有効	 %2401D01%

22-2 UK/PLESSEY チェックディジットの確認

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2402	0→0	無効 ※デフォルト	 %2402D00%
	0→1	1 デジット (mod10)	 %2402D01%

22-3 UK/PLESSEY チェックディジットの送信

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2403	0→0	無効 ※デフォルト	 %2403D00%
	0→1	有効	 %2403D01%

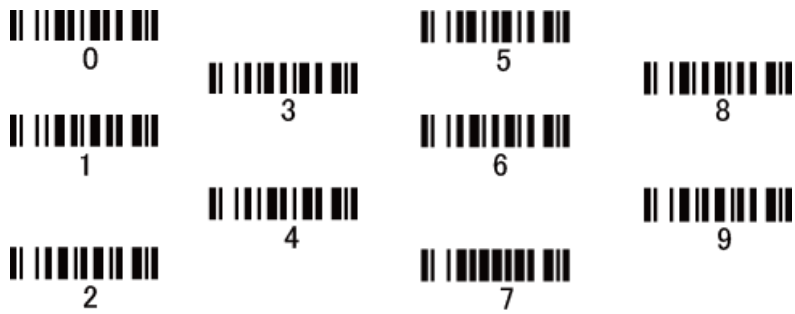
22-4 UK/PLESSEY : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP ↓  2404 ↓ 数字コード ↓  %%%END	00→99 ※デフォルト値は 99	例：読み取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」→「2404」→「1」→「0」→「%%%END」の順で読み取る。 ※デフォルト値は 99,無制限になります。

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



22-5 UK/PLESSEY : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP ↓  2405 ↓ 数字コード ↓  %%%END	00→99 ※デフォルト値は 01	例：読取り最小桁数を 8 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」→「2405」→「0」→「8」→「%%% END」の順で読取る。 ※デフォルト値は 01

数字バーコード読取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読取りを行います。



22-6 コード ID カスタマイズ

コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。
また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP ↓  2406 ↓ 数字コード ↓  %%%END	00-FF (16 進数) (ASCII 表) ※デフォルト値 55 ※デフォルト内容:U	例：コード ID を U に指定したい場合は ASCII 表：U=55 「%SETUP」→「2406」→「5」→「5」→ 「%%%END」の順で読み取る。 ※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 55 ※デフォルト内容：U

オプションコード読み取り（マルチスキャン用）



22-7 グループ選択を挿入

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   2407  数字コード   %%%END	00→44 ※デフォルト値は00	例：グループ1→01 または 10 に設定して下さい。 グループ2→24 または 42 に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24. 30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値です。

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



23. CHINA POST

23-1 CHINA POST の読取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2601	0→0	無効	 %2601D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %2601D01%

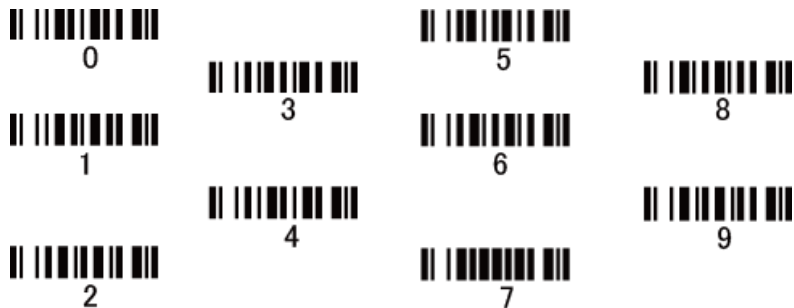
23-2 CHINA POST：最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP ↓  2604 ↓ 数字コード ↓  %%%END	00→99 ※デフォルト値は 11	例：読み取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」→「2604」→「1」→「0」→「%%%END」の順で読み取る。 ※デフォルト値は 11

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



23-3 CHINA POST：最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP ↓  2605 ↓ 数字コード ↓  %%%END	00→99 ※デフォルト値は 11	例：読取り最小桁数を 8 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」→「2605」→「0」→「8」→「%%%END」の順で読み取る。 ※デフォルト値は 11

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



0



3



5



8



1



6



9



4



2



7

23-4 コード ID カスタマイズ

コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。
また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP ↓  2606 ↓ 数字コード ↓  %%%END	00-FF (16 進数) (ASCII 表) ※デフォルト値 54 ※デフォルト内容:T	例：コード ID を T に指定したい場合は ASCII 表：T=54 「%SETUP」→「2606」→「5」→「4」→ 「%%%END」の順で読み取る。 ※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 54 ※デフォルト内容：T

オプションコード読み取り（マルチスキャン用）



23-5 グループ選択を挿入

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   2607  数字コード   %%%END	00→44 ※デフォルト値は 00	例：グループ 1→01 または 10 に設定して下さい。 グループ 2→24 または 42 に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24. 30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値で す。

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）
 数字コード部分に従って読み取りを行います。



24. GS1 DataBar (GS1 DataBar Truncated)

25-1 GS1 DataBar の読取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2701	0→0	無効	 %2701D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %2701D01%

24-2 コード ID カスタマイズ

コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。
また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP ↓  2702 ↓ 数字コード ↓  %%%END	00-FF (16 進数) (ASCII 表) ※デフォルト値 52 ※デフォルト内容:R	例：コード ID を R に指定したい場合は ASCII 表：R=52 「%SETUP」→「2702」→「5」→「2」→ 「%%%END」の順で読み取る。 ※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 52 ※デフォルト内容：R

オプションコード読み取り（マルチスキャン用）



24-3 グループ選択を挿入

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   2703  数字コード   %%%END	00→44 ※デフォルト値は00	例：グループ1→01 または 10 に設定して下さい。 グループ2→24 または 42 に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24. 30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値です。

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



24-4 GS1 DataBar の変換

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2704	0→0	なし ※デフォルト	 %2704D00%
	0→1	UCC/ JAN128	 %2704D01%
	0→2	UPC-A or JAN-13	 %2704D02%

25. GS1 DataBar Limited

26-1 GS1 DataBar Limited の読取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2801	0→0	無効	 %2801D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %2801D01%

25-2 コード ID カスタマイズ

コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。
また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP ↓  2802 ↓ 数字コード ↓  %%%END	00-FF (16 進数) (ASCII 表) ※デフォルト値 52 ※デフォルト内容:R	例：コード ID を R に指定したい場合は ASCII 表：R=52 「%SETUP」→「2802」→「5」→「2」→ 「%%%END」の順で読み取る。 ※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 52 ※デフォルト内容：R

オプションコード読み取り（マルチスキャン用）



25-3 グループ選択を挿入

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP ↓  2803 ↓ 数字コード ↓  %%%END	00→44 ※デフォルト値は00	例：グループ1→01 または 10 に設定して下さい。 グループ2→24 または 42 に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24.30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値です。

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



25-4 GS1 DataBar Limited の変換

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2804	0→0	なし ※デフォルト	 %2804D00%
	0→1	UCC/ JAN128	 %2804D01%
	0→2	UPC-A or JAN-13	 %2804D02%

26. GS1 DataBar Expanded

27-1 GS1 DataBar Expanded の読取り

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2901	0→0	無効	 %2901D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %2901D01%

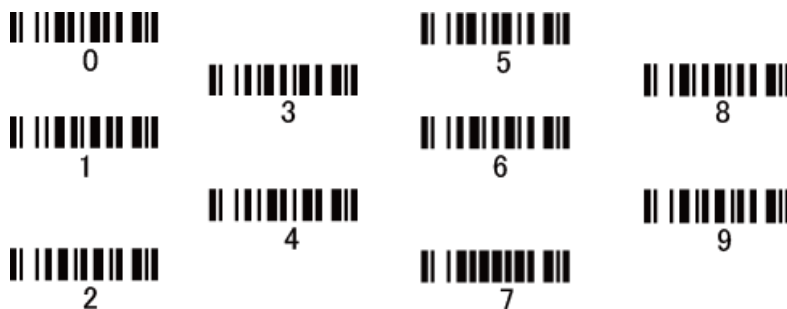
26-2 GS1 DataBar Expanded : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   2902  数字コード   %%%END	00→99 ※デフォルト値は 99	例：読み取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」→「2902」→「1」→「0」→「%%END」の順で読み取る。 ※デフォルト値は 99

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



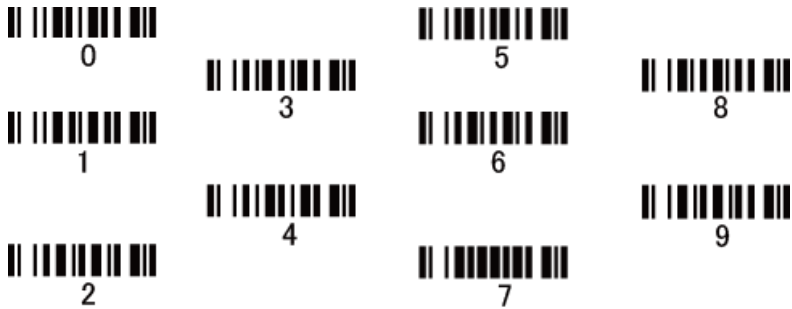
26-3 GS1 DataBar Expanded : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP ↓  2903 ↓ 数字コード ↓  %%%END	00→99 ※デフォルト値は 01	例：読み取り最小桁数を 8 桁に指定したい場合は： 「%SETUP」→「2903」→「0」→「8」→「%%%END」の順で読み取る。 ※デフォルト値は 01

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



26-4 コード ID カスタマイズ

コードの種類を識別できる設定です。コード ID の設定はコード ID の送信を有効にしないと送信されません。
また、独自の ID を送信する場合は ASCII コードを参照して下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP ↓  2904 ↓ 数字コード ↓  %%%END	00-FF (16 進数) (ASCII 表) ※デフォルト値 52 ※デフォルト内容:R	例：コード ID を R に指定したい場合は ASCII 表：R=52 「%SETUP」→「2904」→「5」→「2」→ 「%%%END」の順で読み取る。 ※設定内容は ASCII 表を参照して下さい ※デフォルト値は 52 ※デフォルト内容：R

オプションコード読み取り（マルチスキャン用）



26-5 グループ選択を挿入

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP   2905  数字コード   %%%END	00→44 ※デフォルト値は 00	例：グループ 1→01 または 10 に設定して下さい。 グループ 2→24 または 42 に設定して下さい。 00.01.02.03.04.10.11.12.13.14.20.21.22.23.24. 30.31.32.33.34. 40.41.42.43.44. は有効な設定値で す。

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



26-6 GS1 DataBar Expanded の変換

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
2906	0→0	なし ※デフォルト	 %2906D00%
	0→1	UCC/EAN 128	 %2906D01%

27. 出力文字の編集-1

27-1 先頭に文字を付加する

読み取ったバーコードの先頭に文字を付加できます。付加できる文字数は 22 個まで。

例: 「A」を挿入する

元のデータ	123456
設定後の出力データ	A 123456

1. 設定開始を読取ります。



2. 先頭付加設定を読取ります。



3. 付加する文字を設定します。

「A」 付加する場合は「4」→「1」の順に読取りを行います。

「AB」と 2 文字付加する場合は「4」→「1」→「4」→「2」と続けて付加します。

※数字コードは次ページにあります。

H L	USB(HID)		RS-232C VCOM	
	0	1	0	1
0	Null		NUL	DLE
1	Up	F1	SOH	DC1
2	Down	F2	STX	DC2
3	Left	F3	ETX	DC3
4	Right	F4	EOT	DC4
5	PgUp	F5	ENQ	NAK
6	PgDn	F6	ACK	SYN
7		F7	BEL	ETB
8	Bs	F8	BS	CAN
9	Tab	F9	HT	EM
A		F10	LF	SUB
B	Home	Esc	VT	ESC
C	End	F11	FF	FS
D	Enter	F12	CR	GS
E	Insert	Ctrl+	SO	RS
F	Delete	Alt+	SI	US

H L	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	“	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	‘	7	G	W	g	w
8	(	8	H	X	h	x
9	)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[	k	{
C	,	<	L	\	l	
D	-	=	M	]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

例：付加記号

付加記号	数字コード
Enter キー	0→D
TAB キー	0→9
付加無し	0→0
スペースキー	2→0
A	4→1
a	6→1

◆数字コード



4. 文字の確定（%%%END）を読取ります。



5. 設定したコードの送信を有効にします。
下記のコードを順に読取ります。



27-2 末尾に文字を付加する

読み取ったバーコードの末尾に文字を付加できます。付加できる文字数は 22 個まで。

例: 「A」を挿入する

元のデータ	123456
設定後の出力データ	123456 A

1. 設定開始を読取ります。



2. 末尾付加設定を読取ります。



3. 付加する文字を設定します。

「A」付加する場合は「4」→「1」の順に読取りを行います。

「AB」と 2 文字付加する場合は「4」→「1」→「4」→「2」と続けて付加します。

※数字コードは次ページにあります。

H L	USB(HID)		RS-232C VCOM	
	0	1	0	1
0	Null		NUL	DLE
1	Up	F1	SOH	DC1
2	Down	F2	STX	DC2
3	Left	F3	ETX	DC3
4	Right	F4	EOT	DC4
5	PgUp	F5	ENQ	NAK
6	PgDn	F6	ACK	SYN
7		F7	BEL	ETB
8	Bs	F8	BS	CAN
9	Tab	F9	HT	EM
A		F10	LF	SUB
B	Home	Esc	VT	ESC
C	End	F11	FF	FS
D	Enter	F12	CR	GS
E	Insert	Ctrl+	SO	RS
F	Delete	Alt+	SI	US

H L	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	“	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	‘	7	G	W	g	w
8	(	8	H	X	h	x
9	)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[	k	{
C	,	<	L	\	l	
D	-	=	M	]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

例：付加記号

付加記号	順番
Enter キー	0→D
TAB キー	0→9
付加無し	0→0
スペースキー	2→0
A	4→1
a	6→1

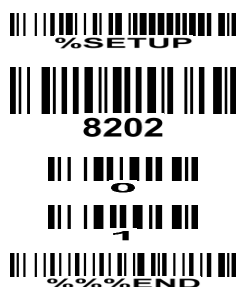
◆数字コード



4. 文字の確定（%%%END）を読取ります。



5. 設定したコードの送信を有効にします。
下記のコードを順に読取ります。



27-3 文字を任意の位置に挿入する

読み取ったバーコードの指定した桁の間に文字の挿入が可能です。

例:「AB」を 2 文字目の後に挿入する

元のデータ	123456
設定後の出力データ	12 AB 3456

1. 設定開始を読取ります。



2. キャラクタ付加のグループ登録先を設定する。

グループ登録先 1～4 から一つスキャナします。

登録グループごとにキャラクタ挿入することができます。

一つのグループに最大 22 桁のキャラクタを挿入できます。

グループ 1	 8005
グループ 2	 8006
グループ 3	 8007
グループ 4	 8008

3. 挿入する文字を設定します。

「A」付加する場合は「4」→「1」の順に読取りを行います。

「AB」と 2 文字付加する場合は「4」→「1」→「4」→「2」と続けて付加します。

※数字コードは次ページにございます。

		USB(HID)		RS-232C VCOM	
H L		0	1	0	1
0		Null		NUL	DLE
1		Up	F1	SOH	DC1
2		Down	F2	STX	DC2
3		Left	F3	ETX	DC3
4		Right	F4	EOT	DC4
5		PgUp	F5	ENQ	NAK
6		PgDn	F6	ACK	SYN
7			F7	BEL	ETB
8		Bs	F8	BS	CAN
9		Tab	F9	HT	EM
A			F10	LF	SUB
B		Home	Esc	VT	ESC
C		End	F11	FF	FS
D		Enter	F12	CR	GS
E		Insert	Ctrl+	SO	RS
F		Delete	Alt+	SI	US

H L	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	“	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	‘	7	G	W	g	w
8	(	8	H	X	h	x
9	)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[	k	{
C	,	<	L	\	l	
D	-	=	M	]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

◆例：付加記号

付加記号	順番
Enter キー	0→D
TAB キー	0→9
無し	0→0
スペースキー	2→0
A	4→1
a	6→1

◆数字コード



4. 文字の確定（%%%END）を読取ります。



5. 設定開始を読取ります。



6. 挿入グループを指定します。

「2. キャラクタ付加のグループ登録先を設定する」で設定した内容に応じて選択する。

グループ 1 に登録した場合	 8101
グループ 2 に登録した場合	 8102
グループ 3 に登録した場合	 8103
グループ 4 に登録した場合	 8104

7. 挿入する位置を指定します。

上記の数字コードから挿入する桁数を読取ります。

2 桁目のコードの後に挿入する場合は「0」→「2」を読取ります。

8. 設定終了（%%%END）を読取ります。



9. 設定した内容を反映する

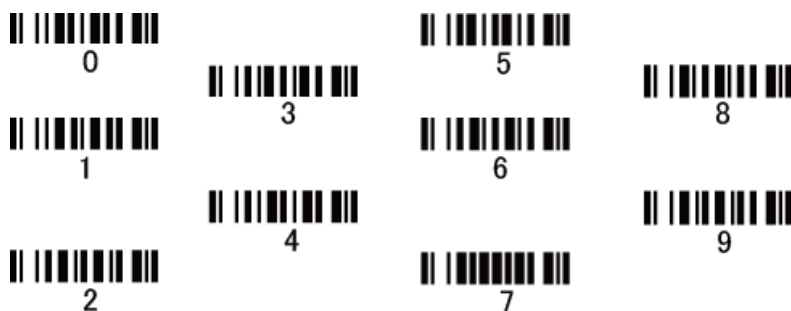
下記のコードを順に読取ります。

設定開始	 %SETUP
グループ登録有効	 0407
グループ登録の対応コード 「グループ 1」:「0」→「1」の順番 「グループ 2」:「0」→「2」の順番 「グループ 3」:「0」→「3」の順番 「グループ 4」:「0」→「4」の順番 グループ登録の内容に合わせて数字コードを読み取って下さい。	数字コードを参照して下さい
設定終了	 %%%END

◆数字コード

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



27-4 指定した文字を別の文字に置き換える。(置換機能)

指定したバーコードに含まれる文字を別の文字に置き換えることができます。

置き換えパターンは2パターンまで登録が可能です。

例: 「A」を「B」に置き換える設定を行った場合

元のデータ	123 A5A
設定後の出力データ	123 B5B

1. 設定開始を読取ります。



2. 置き換え文字の登録を行います。

初めて登録する場合はパターン1、追加で登録する場合はパターン2の読取りを行います。

パターン1



パターン2



3. 置き換えたい文字を選択して設定します。

「A」を別の文字にする場合は「4」→「1」の順に読取りを行います。

H L	USB(HID)		RS-232C VCOM	
	0	1	0	1
0	Null		NUL	DLE
1	Up	F1	SOH	DC1
2	Down	F2	STX	DC2
3	Left	F3	ETX	DC3
4	Right	F4	EOT	DC4
5	PgUp	F5	ENQ	NAK
6	PgDn	F6	ACK	SYN
7		F7	BEL	ETB
8	Bs	F8	BS	CAN
9	Tab	F9	HT	EM
A		F10	LF	SUB
B	Home	Esc	VT	ESC
C	End	F11	FF	FS
D	Enter	F12	CR	GS
E	Insert	Ctrl+	SO	RS
F	Delete	Alt+	SI	US

H L	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	“	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	‘	7	G	W	g	w
8	(	8	H	X	h	x
9	)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[	k	{
C	,	<	L	\	l	
D	-	=	M	]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

◆例：付加記号

付加記号	順番
Enter キー	0→D
TAB キー	0→9
無し	0→0
スペースキー	2→0
A	4→1
a	6→1

◆数字コード



0



1



2



3



4



5



6



7



8



9



A



C



E



B



D



F

4. どの文字に置き換えるかを設定します。

設定した文字を「B」に文字を置き換える場合は「4」→「2」の順に読取りを行います。

H L	USB(HID)		RS-232C VCOM	
	0	1	0	1
0	Null		NUL	DLE
1	Up	F1	SOH	DC1
2	Down	F2	STX	DC2
3	Left	F3	ETX	DC3
4	Right	F4	EOT	DC4
5	PgUp	F5	ENQ	NAK
6	PgDn	F6	ACK	SYN
7		F7	BEL	ETB
8	Bs	F8	BS	CAN
9	Tab	F9	HT	EM
A		F10	LF	SUB
B	Home	Esc	VT	ESC
C	End	F11	FF	FS
D	Enter	F12	CR	GS
E	Insert	Ctrl+	SO	RS
F	Delete	Alt+	SI	US

H L	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	“	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	‘	7	G	W	g	w
8	(	8	H	X	h	x
9	)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[	k	{
C	,	<	L	\	l	
D	-	=	M	]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

◆例：付加記号

付加記号	順番
Enter キー	0→D
TAB キー	0→9
付加無し	0→0
スペースキー	2→0
A	4→1
A	6→1

◆数字コード



0



1



2



3



4



5



6



7



8



9



A



B



C



D



E



F



G



H

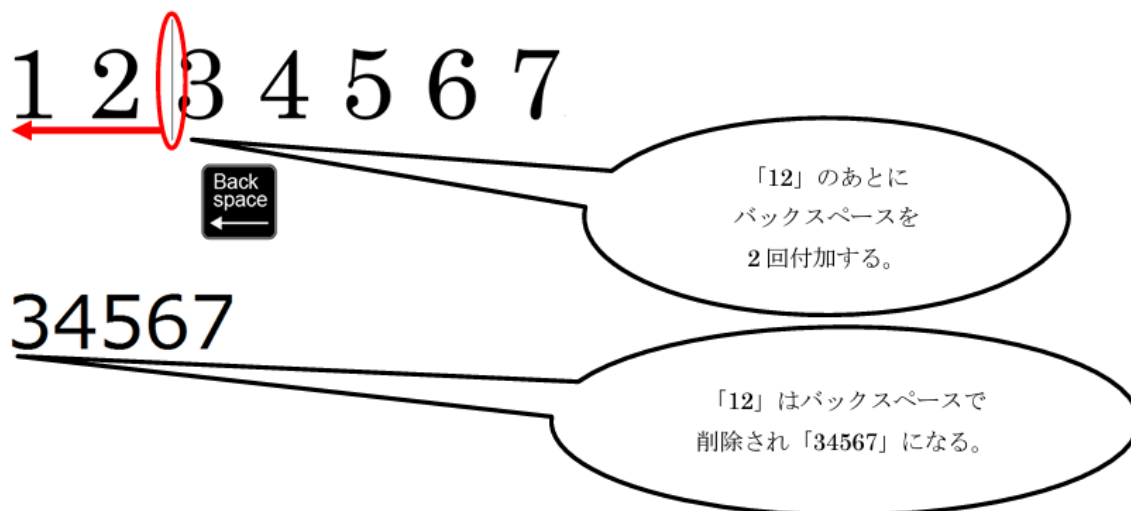
5. 設定終了の「%%%END」を読取ります。



27-5 文字列の削除 (back space 付加)

バーコードデータに back space/バックスペースを入れることで削除になります。

例：「1234567」の先頭 2 文字を削除する (2 桁目から back space を 2 つ付加する)



・下記のような設定は可能です。

例 1：バーコード「12345」から 3 桁目を消して「1245」と送信する。

例 2：バーコード「12345」の 1～3 桁目を消して「45」と送信する。

例 3：バーコード「12345」の 4,5 桁目を消して「123」と送信する。

例 4：バーコードの種類が「CODE39 の場合のみ」3 桁目を削除する。

・下記のような設定は出来ません。

例：バーコード「12345」から 1 桁目、3 桁目、5 桁目を消して「24」と送信する。

1. 下記の 2 つのコードを読取ります。



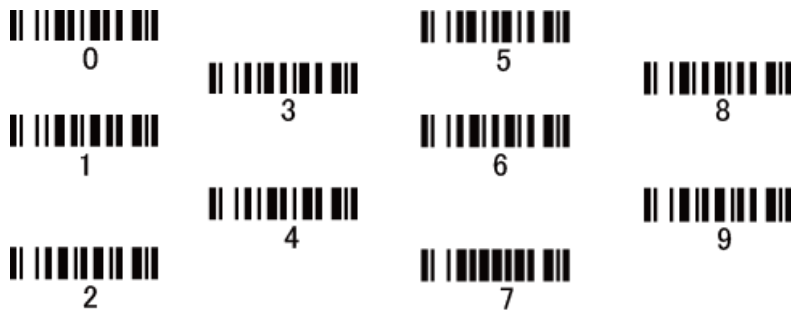
2. 削除開始位置を設定します。

例 1：2 桁目だけ、または 3 桁目以前を削除する場合は「0」→「3」の順で読取ります。
数字コードを参照して下さい。

◆数字コード

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



3. 設定終了の「%%%END」を読み取ります



4. 下記の2つのコードを読み取ります。



5. back space を付加する数を選択します。

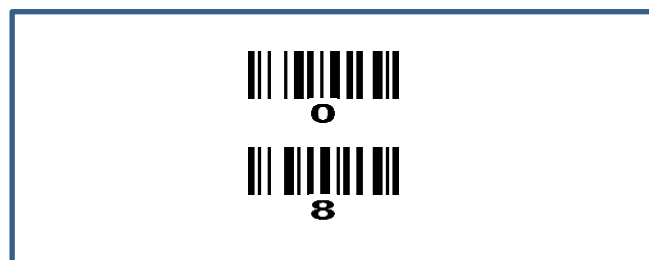
例 1 : 1 文字だけ削除する場合は「0」→「8」を 1 回読み取ります。

例 2 : 2 文字を削除する場合は「0」→「8」を 2 回読み取ります。

類似 : 3 文字を削除するなら 3 回

4 文字を削除するなら 4 回

...



6. 設定終了の「%%%END」を読取ります



7. 設定したコードの送信を有効にします。
下記のコードを順に読取ります。



28.出力文字の編集-2

28-1 バーコードの種類名の表示

バーコードの種類名（CODE39 や CodaBar 等）を表示させることが出来ます。

例：12345 という CODE39 のバーコードを読み取った場合「**CODE39** 12345」と

先頭にコードの名称が表示されます。

※JAN 等の一部のコードは EAN 等と一部、海外表記・別称で表記されます。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
8203	0→0	無効 ※デフォルト	 %8203D00%
	0→1	有効	 %8203D01%

28-2 コード ID の表示

バーコードに割り振られたコード番号を送信することが可能です。

このコードは別途、任意に割り振ることも可能です。

詳細は P164 ページをご確認下さい。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
8206	0→0	無効 ※デフォルト	 %8206D00%
	0→1	Proprietary ID	 %8206D01%
	0→2	AIM ID	 %8206D02%

28-3 バーコードの文字数の出力

バーコードに含まれている文字数を出力できます。

例：「12345」バーコードを読み取った場合「**5** 12345」と

先頭に文字数が表記されます。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
8207	0→0	無効 ※デフォルト	 %8207D00%
	0→1	有効	 %8207D01%

28-4 大文字→小文字 小文字→大文字固定変換送信

設定を行うことでバーコードの大文字・小文字を任意に指定して送信が可能です。

マルチスキャンコード	数字コード	内容	クイックバーコード
8208	0→0	無効 ※デフォルト	 %8208D00%
	0→1	大文字 (バーコードのみ)	 %8208D01%
	0→2	小文字 (バーコードのみ)	 %8208D02%
	0→3	小文字 (全てのデータ)	 %8208D03%
	0→4	小文字 (全てのデータ)	 %8208D04%

28-5 先頭から文字を抜き出す

先頭から文字を抜き出すことが出来ます。

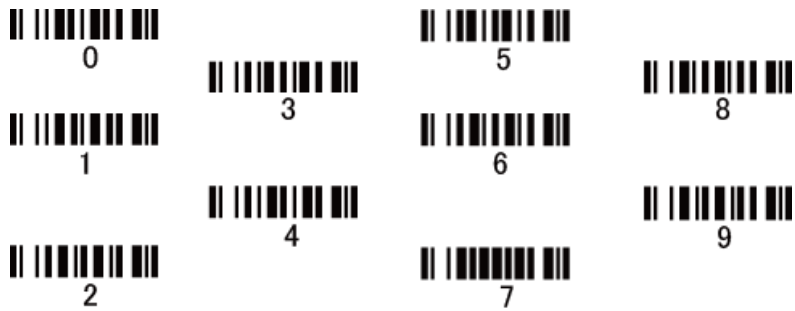
※中間文字の抜き出しはできません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP ↓  8211 ↓ 数字コード ↓  %%%END	01→99 ※デフォルト値は 99	例：「12345678」というコードの先頭から 4 桁まで出力しかしません 「%SETUP」→「8211」→「0」→「4」→「%%%END」の順で読み取る。 出力結果：1234 ※デフォルト値は 99

◆数字コード

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



28-6 末尾から文字を抜き出す

末尾から文字を抜き出すことが出来ます。

※中間文字の抜き出しはできません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %SETUP ↓  8212 ↓ 数字コード ↓  %%%END	01→99 ※デフォルト値は 99	例：「12345678」というコードの末尾から 4 桁まで出力しかしません 「%SETUP」→「8212」→「0」→「4」→「%%%END」の順で読み取る。 出力結果：5678 ※デフォルト値は 99

◆数字コード

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



29.各バーコードのデフォルト設定参照

コードタイプ	読み取り 可能か	チェックデ ジット確認	チェックデ ジット送信	最小コードの 長さ	プロパティ コード ID	AIM コード ID
UPC-A	○	○	○	(12) ²	A	]Em
UPC-E	○	○	○	(8) ²	D	]Em
JAN-13	○	○	○	(13) ²	A	]Em
JAN-8	○	○	○	(8) ²	C	]Em
ISBN	○	○	○	(13) ²	A	]Em
Code39	○			1	M	]Am
Interleaved 2 of 5	○			6	I	]Im
Industrial 2 of 5				4	H	]Im
Matrix 2 of 5	○			6	X	]Im
Codabar	○			4	N	]Fm
Code 128	○	○		1	K	]Cm
Code 93	○	○		1	L	]Gm
Code 11		○		4	V	-
MSI/Plessey				4	O	]Mm
UK/Plessey	○	○		1	U	]Mm
UCC/EAN 128	○	○		1	K	]Cm
GS1 DataBar	○			(16) ²	R	]em

30.ASCII コード表

H L	USB(HID)		RS-232C VCOM	
	0	1	0	1
0	Null		NUL	DLE
1	Up	F1	SOH	DC1
2	Down	F2	STX	DC2
3	Left	F3	ETX	DC3
4	Right	F4	EOT	DC4
5	PgUp	F5	ENQ	NAK
6	PgDn	F6	ACK	SYN
7		F7	BEL	ETB
8	Bs	F8	BS	CAN
9	Tab	F9	HT	EM
A		F10	LF	SUB
B	Home	Esc	VT	ESC
C	End	F11	FF	FS
D	Enter	F12	CR	GS
E	Insert	Ctrl+	SO	RS
F	Delete	Alt+	SI	US

H L	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	“	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	‘	7	G	W	g	w
8	(	8	H	X	h	x
9	)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[	k	{
C	,	<	L	\	l	
D	-	=	M	]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

使い方：“A” = “41” . のため、次のページの
オプションコードから「4」→「1」と読み取ります。

31.オプションコード表



スキャン終了



◆初期化

バーコードリーダーの設定を工場出荷時のものにします。



◆バージョンの確認

メモ帳や Excel などを開いて読取りを行います。



◆サンプルバーコード

UPC-A



UPC-E



UPC-E1



EAN-13



ISBN/ISSN



EAN-8



Code 39



Code 32



Trioptic Code 39

(デフォルト値OFF)



\$123456\$

Interleaved 2 of 5



0123456789

Industrial 2 of 5

(デフォルトOFF)



0123456789

Matrix 2 of 5



9876543210

Codabar



a01+-:./\$89a

Code 128



01AZ[+-*/]za98

UCC/EAN 128



01AZ[]+-az54

ISBT 128



Code 93



Code 11



MSI/Plessey

(デフォルトOFF)



GS1 DataBar (GS1 DataBar Truncated)



GS1 DataBar Limited



GS1 DataBar Expanded

